

第11回ソーシャルワーカーデー 「子どもに寄り添うソーシャルワーク」

趣旨

コロナ禍があげ、社会はもとのように動き始めています。しかし、一見何事もなく動いているように見える日々の中で、物価の高騰や経済的格差によって、生活にさまざまな困難を来している人もまた多くなっています。そのような困難は、例えばひとり親家庭や子ども、支えのない高齢者など、社会的に弱い立場にある人たちの生活により多くの影響を与えます。

今回のソーシャルワーカーデーでは、「子どもに寄り添うソーシャルワーク」をテーマとし、子どもや女性などの社会的に弱い立場の人を支援する活動も行っておられる、杏林大学の加藤雅江教授の講演と県内でさまざまな形で子どもの支援などを行っているソーシャルワーカーの実践について報告し意見交換を行います。

日時：2023年9月30日(土)

13:30～16:30(受付13:00～)

開催方法：ZOOM

内容：講演とパネルディスカッション

テーマ：子どもに寄り添うソーシャルワーク

講演：13:35～14:45

講師：加藤 雅江氏 (杏林大学健康福祉学部教授)

パネルディスカッション：14:55～16:25

パネリスト：有村 繁樹氏 (鹿児島県社会福祉士会)

中山 暢氏 (鹿児島県精神保健福祉士協会)

高田 裕子氏 (鹿児島県ソーシャルワーカー協会)

コーディネーター：高橋 信行氏 (鹿児島国際大学福祉社会学部 教授)

定員：80名 (先着順)

申込締切：9月22日(金) ※定員になり次第締め切ります。

申込方法：<https://forms.gle/fLSY9wM3o3JL8Rf76>

※参加の方には9月27日(水)までにZOOM ID等をお知らせいたします。



ソーシャルワーカーデー

社会福祉関係の全国団体(17団体)で構成するソーシャルケアサービス従事者研究協議会では、2009年度より、毎年、国民の祝日である「海の日」を、わが国の「ソーシャルワーカーデー (Social Workers Day)」とし、ソーシャルワーカーである社会福祉士と精神保健福祉士の役割や取り組みを国民に知っていただく日としました。鹿児島県のソーシャルワーカー各団体でも2010年からソーシャルワーカーの活動を知っていただくため7月に講演会等を実施しています。

講師プロフィール

加藤 雅江 (かとう まさえ)

1990年杏林大学医学部付属病院

医療福祉相談室に入職

2020年学園内の人事異動により現職

日本子ども虐待防止医学会代議員

メンタルヘルスケア委員会副委員長

子どもの虐待防止センター代議員

NPO法人居場所作りプロジェクト

だんだん・ばぁ理事長

NPO法人子ども・

若者センターこだま副理事長



主催

鹿児島国際大学

(公社)鹿児島県社会福祉士会・(一社)鹿児島県精神保健福祉士協会

鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会・鹿児島県ソーシャルワーカー協会

問い合わせ先

公益社団法人 鹿児島県社会福祉会事務局(月曜～金曜9:00～17:00)

TEL:099-213-4055 FAX:099-213-4051 Email: jacs@po.minc.ne.jp

申込先QRコード

